

日時・場所	令和3年2月22日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、川端政策調整部長、吉川病院事務部長、市木総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、杉本教育部長、遠藤会計管理者、川尻政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 開会

### <市長挨拶>

三寒四温と言うように、寒い日と温かい日の寒暖差が激しくなっているので、体調を崩さないように気をつけてもらいたい。

新型コロナワクチンの高齢者への接種について、4月に一斉に接種を開始することが困難になったとの報道があった。政府では、接種の方法を週内に練り直すほか、キャンセル待ちの仕組みについても検討されるようである。他市ではデモンストレーションを行って準備を進めておられるようだが、本市でも早急に進めていく必要があると考えている。一大緊急事業だと考えており、先週には専従で2名の職員を人事異動でワクチン接種推進室に配置した。各部署とも要請があれば、できる限りの協力体制を取ってもらうようお願いする。

## 2. 議題

### ① 野洲市国民健康保険税条例及び野洲市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

令和3年2月3日に新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律が成立したことに伴い、改正前の特措法附則第1条の2の規定を引用して新型コロナウイルス感染症の定義をしている条例については、法律改正と同様に新型コロナウイルス感染症の定義部分の改正を行う必要があるため、当該条例について所要の改正を行う。

## 3. その他伝達事項

- 今年度、防災行政無線の更新工事を進めているが、その過程で情報関係試験を行ったところ、設定誤りにより、試験対象外の緊急通報メール（エリアメール）が配信されてしまった。市民の方はもちろん、県や近隣市町の方、職員にも多大なご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っている。今後はこのような事態が起らないよう、精査して業務にあたる。（市民部）
- 誤配信があった際、市立病院では危機管理課に問い合わせ初めてそのことが分かった。病院現場では、建物の耐震対策の課題もあり、職員は心配を抱えながら業務にあたっている。発災時には、病院スタッフは患者さんを守るというスイッチが入るため、あの瞬間には病院内で大きな動揺があった。そのような実態を認識し、対応に関する考えを改めてもらいたい。
- 防災システムの更新で屋外スピーカーも更新されると聞いているが、誤配信時に放送された内容を市役所の本館や別館で窓を開けて聞いたが、全く聞き取れなかった。
  - スピーカーの更新は未完了の地域もあると聞いている。性能は良くなるが、スピーカーは屋外の方を対象としており、屋内の方にはアプリやメールでお知らせすることを想定している。
  - 高齢者等はアプリやメールの設定は難しいと思うが、そういった方のためにもスピーカーの数を減らして性能を上げるということではなかったか。以前より聞き取りにくくなっているのではないか。
  - スピーカーの設定等について精査する。また、アプリやメールの登録や設定について、今後周知を進めていく。
- 議場システムの改修が完了し、マイクやモニター等が更新されたので、その使用方法について

説明する。(議会事務局)

→マイクのボタンは使用禁止とのことだが、何故使用しないボタンが付いているのか。

→議場での電子投票を想定して製造されたものであり、これが標準仕様となっているためである。

○ 業務で使用する端末の外部との接続がやり辛く、ガードが固すぎるのではないかと感じている。

他の自治体の状況はどうか。(副市長)

→日本年金機構での情報漏洩を受け、国を挙げての対策として4年前からこのような形で運用しており、他自治体も同様の状況である。来年度には新たなシステムを稼働させる予定であるため、仕組みは変わらないが、少しでも使い勝手が良くなるよう検討したい。内部システムと切り離すことは外せないため、手間をかけることになるが、ご理解いただきたい。

→若手職員等で検討する勉強会をやってみてはどうか。

→外せないルールがあるため、提案いただいても対応できない可能性がある。ウイルスが高度化しており、現在の運用でも危険があると考えている。

○ 庁議のペーパーレス化に伴い、来週の部長会議からは次第と総合調整会議要録のみ配布し、議題の紙資料は配布しないこととする。(事務局)

#### 4. 次回部長会議の予定

3月9日(火) 9時00分～ 庁議室

#### 5. 閉会